



地域文献資料のほりおこしと保存・活用：「摩耶道 のとおり村の歴史」編さん関連事業を中心に

木村，修二

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 12:29-31

(Issue Date)

2014-02-02

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005449>



地域文献資料のほりおこしと保存・活用

——「摩耶道のとおり村の歴史」編さん関連事業を中心に——

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

木村修二

□「摩耶道のとおり村の歴史」とは？

* 神戸大学・灘区チャレンジ事業助成

- ・ 2004 年（平成 16）12 月神戸市灘区と神戸大学との協定締結
→ 地域の福祉の向上、産業振興、教育・文化・スポーツの振興、人材育成、まちづくりなどの諸分野において相互に協力し、地域社会の発展や活性化に寄与するための連携協力に関する協定
- ・ 2005 年度より「神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成」開始
 - † 2005 年度「篠原地区の昔と今～古文書と古写真～」
 - ☞ 古文書・古写真の展示会開催（3 会場）、小冊子（図録）発行（2 冊）
 - † 2006 年度「水道筋地域のむかし」
 - ☞ 灘区西部地域の史料ほりおこし、小冊子（ブックレット）発行
 - ※ 2008 年度灘・地域アカデミー（主催：灘区）での講演（2 回＋フィールドワーク）
 - † 2011 年度「「摩耶道のとおり村の歴史」関係資料調査および講演会開催事業」
 - ☞ 古文書調査（大利家文書）、講演会開催、報告書発行
 - † 2012 年度「「摩耶道のとおり村の歴史」資料調査・講演会開催・冊子編集事業」
 - ☞ 古文書調査（大利家文書）、講演会開催 ※ 冊子未発行
 - ※ 2011～2 年度の取り組みの中で、摩耶山天上寺とも密接に連携

* 活動概要

- ・ 文献資料調査（摩耶山（神戸市灘区）山麓地域と摩耶山天上寺）
 - † 五毛・大利家文書の調査
 - † 摩耶山天上寺所蔵文書および戦前絵葉書調査
 - † 旧天上寺塔頭王蔵院文書（神戸市文書館所蔵）
- ・ 遠隔地への調査
 - † 東京・国会図書館、東京都中央図書館への調査（2011 年 11 月）
→ 全国の自治体史における摩耶山参詣文献資料の博搜
 - † 播磨・丹波地域への摩耶山檀家調査（2012 年 10 月）
- ・ 地元での講演会開催
 - † 2011 年度：「摩耶道のとおり村の歴史 講演とフィールドワーク（第 1 回）」開催
→ 2012 年 3 月 12 日 於摩耶山天上寺
 - † 2012 年度：「摩耶道のとおり村の歴史 講演とフィールドワーク（第 2 回）」開催
→ 2012 年 12 月 21 日 於岩屋青年会館

□摩耶山をめぐる地域文献資料のほりおこし

* 既知の古文書群の再発見

- ・ 2005～6 年度；
 - † 旧天城文書→神戸市教委（1960）、『兵庫県史』史料編中世一（1983 年）
☞ 『篠原の昔と今 古文書と古写真』解説（森田竜雄執筆）で改訂
 - † 都賀家文書→『近世庶民史料所在目録』第二輯（1954）

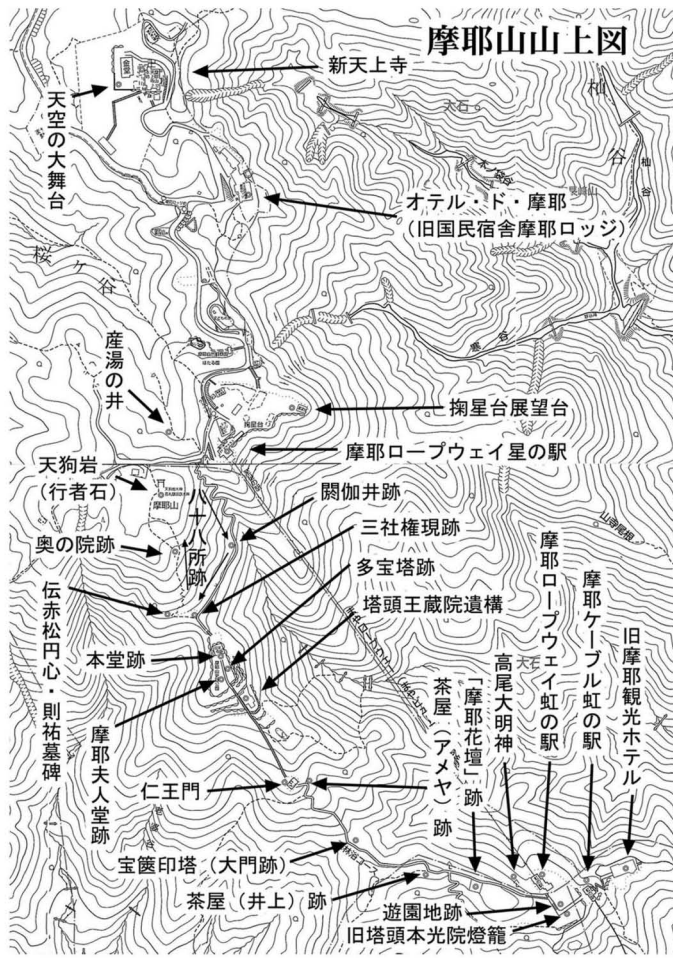
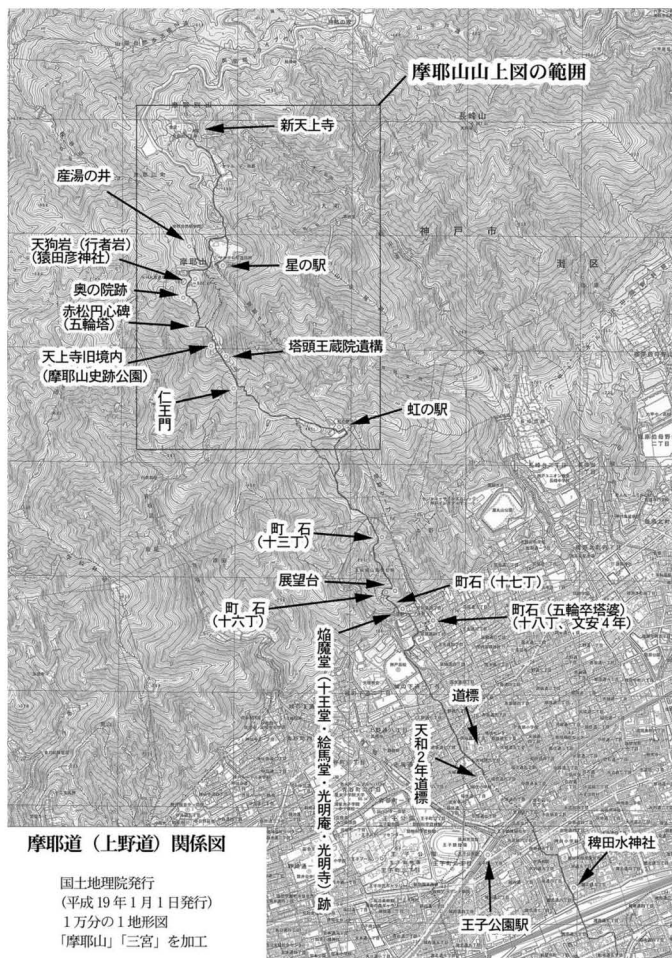
- ☞前年度企画（展示会）に所蔵者が観覧→その後連絡して調査実現
- ・2011～2年度；
 - †大和家文書→『近世庶民史料所在目録』第二輯（1954）、『兵庫県史』史料編中世一（1983年）
 - ☞2003年に初アプローチ→×、2011年天上寺副住職伊藤浄真師を通じて調査実現
- ・調査；目録作成と写真撮影 ☞内容分析と叙述（『水道筋周辺地域のむかし』）
- *未知の資料：天上寺収集摩耶山関連絵葉書との出逢い
 - ・明治末～昭和初期までの多数の絵葉書
 - †昭和51年（1976）天上寺旧伽藍焼失→場所を移して再建
 - ☞絵葉書；旧天上寺伽藍を中心とする摩耶山山上周辺の貴重な記録
 - †2011年度伊藤浄厳貫主・浄真副貫主・木村で座談形式の講演会
 - ☞近い将来天上寺より冊子発行予定

□地域文献資料の保存・保存と地域住民

- *保存するための活用、活用するための保存
 - ・イギリスナショナルトラストのプロパティ活用
 - ☞プロパティ寄贈者がそのまま居住し、学芸員として公開に対応
 - ・曝涼（虫干し）
 - ☞年に一度の虫払い→展観
 - ※資料の保存には活用しつづけることが有効という思想
- *地域住民による地域文献資料活用の可能性
 - ・展示会（簡易なもの）；透明テーブルクロスを用いたテーブル展示（宝塚市山本 etc.）
 - ☞史料現物へのアプローチ
 - ・古文書学習会；社会人向け講座の興隆（マスコミ傘下講座 etc.）
 - ☞史料内容へのアプローチ
 - cf.子供（小中学生）向け古文書解説プログラム（山梨県立博物館）
 - ・地域住民自ら行う古文書整理（丹波市春日町棚原）
 - ☞住民自ら所蔵意識を高める
- *保存と活用の関係
 - ・地域文献資料に対する一般認識；①量的多さ、②内容理解の困難さ、③見た目の「不潔」さ
 - ☞貴重な文化財という一般的な認識が相対的に低い
 - ・地域文献資料の消滅；
 - ①過疎化・高齢化→文化財維持の担い手としてのコミュニティや家族が喪失
 - ②大災害・「構造改革、行政のスリム化」→文化財保存施設の危機
 - ・保存と活用の循環関係；
 - ①活用；地域文献資料そのものへの認識と利解へむけた取り組み・仕掛け
 - ☞保存するためには活用しなければならない
 - ②保存；「消滅」という事態から地域文献資料を遠ざける努力
 - ☞活用するためには保存しなければならない

《参考文献》

- 木原啓吉『歴史的環境』（岩波書店、1982年）、同『ナショナル・トラスト』（三省堂、新版、1996年）、同『暮らしの環境を守る』（朝日新聞社、1992年）。
- 木村修二「地域文献資料の活用（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編『「地域歴史遺産」の可能性』岩田書院、2013年）
- 高橋修「小学生向け古文書解説プログラム開発の意義と効果」（『日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要』17、2013年）
- 渡辺浩一『まちの記憶 播州三木町の歴史叙述』（清文堂出版、2004年）



↑ 絵葉書 天上寺旧伽藍 (明治末頃)

↓ 絵葉書 今は無き摩耶山のピーク (現・掬星台付近)

